談話室　ひこばえ倶楽部

産経新聞　2018年（平成30年）6月18日（月）

母がくれた定期入れに勇気

大学生　細田果那（かな）　18

この春はとてもドキドキしていた。進学のために鳥取の実家の親元から離れ、奈良で1人暮らしを始めた。5人家族から1人になり、苦手な料理などすべてが不安で、緊張と期待の新生活が始まった。

さらに、最大の心配ごとが電車通学だった。地元の鳥取では、1時間に1本列車が走る程度だった。関西のめまぐるしい電車と人の行き交いを見るだけでいやになった。ここになじめる気持ちにならなかった。

そんな不安の中、通学で使用するICカードを手にした。引っ越しを手伝いに来た母親が、定期の購入と入金をしてくれた。別れ際にはカラシ色のパスケースをもらった。

このケースは大人っぽくて気に入っており、革製なので長持ちしそうだ。持ち始めてから、最初は何度も電車を乗り間違えることもあった。

最近はドキドキもなくなり、学生生活にも慣れ、頑張ろうという気持ちになってきた。（奈良市）

＊無断転載不可